

平成28年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	65歳超雇用推進助成金(仮称)			担当部局	職業安定局雇用開発部		作成責任者		
事業開始年度	平成29年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	高齢者雇用対策課		高齢者雇用対策課長 福士亘		
会計区分	労働保険特別会計雇用勘定								
根拠法令(具体的な条項も記載)	雇用保険法第62条第1項第3号			関係する計画、通知等	ニッポン一億総活躍プラン(平成28年6月2日閣議決定) 未来への投資を実現する経済対策(平成28年8月2日閣議決定)				
主要政策・施策	高齢社会対策			主要経費	社会保障				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	高年齢者の雇用の安定を図るため、高年齢者が健康で、意欲と能力がある限り、年齢に関わりなく働ける生涯現役社会を実現していくことを目的とする。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	65歳以上への定年の引上げ等や高年齢者の雇用環境整備の措置の実施、有期契約の高年齢者を無期雇用へ転換を実施する事業主に対して助成を行う。								
実施方法	直接実施、補助、交付								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求			
		当初予算	-	-	-	-	2,599		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計	0	0	0	0	2,599			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標 受給対象企業の60歳以上の雇用保険被保険者資格喪失者数の割合の平均が全事業所平均の一定割合以下	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標	目標最終年度
		成果実績	%		-	-	-	-	
目標値		%	-		-	-	-	精査中	
達成度	%	-	-	-	-	-			
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	65歳超継続雇用促進コースの支給件数			活動実績	件	-	-	-	
	当初見込み			件	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	高年齢者雇用環境整備支援コースの支給件数			活動実績	件	-	-	-	
	当初見込み			件	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	中高年齢者雇用形態転換コースの支給件数			活動実績	人	-	-	-	
	当初見込み			人	-	-	-	-	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	65歳超継続雇用促進コース 単位当たりコスト = 支給金額／平成29年度支給件数 X:「支給金額(千円)」 Y:「支給件数(件)」			単位当たりコスト	千円/件	-	-	-	
	計算式			X / Y	-	-	-	-	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	高年齢者雇用環境整備支援コース 単位当たりコスト = 支給金額／平成29年度支給件数 X:「支給金額(千円)」 Y:「支給件数(件)」			単位当たりコスト	千円/人	-	-	-	
	計算式			X / Y	-	-	-	-	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	中高年齢者雇用形態転換コース 単位当たりコスト = 支給金額／平成29年度支給件数 X:「支給金額(千円)」 Y:「支給件数(件)」			単位当たりコスト	千円/人	-	-	-	
	計算式			X / Y	-	-	-	-	

事業所管部局による点検・改善													
	項目	評価	評価に関する説明										
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	高年齢者の雇用の安定を図るため、高年齢者が意欲と能力がある限り、年齢に関わりなくいきいきと働ける生涯現役社会を実現していくことを目的としており、国民のニーズがあり、国費を投入しなければ事業目的の達成が困難である。										
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	高年齢者の雇用の安定を図るため、生涯現役社会の実現に向けて、国が主体的に事業を実施する必要がある。										
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	生涯現役社会の実現を図るためにには、事業主の取組を支援することが不可欠であり、優先度の高い事業となっている。										
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-											
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。												
	競争性のない随意契約となったものはないか。												
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-											
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-											
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-											
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-											
事業の効率性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-											
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-											
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-											
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-											
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-											
事業の有効性	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-											
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-											
	所管府省・部局名	事業番号	事業名										
点検・改善結果	点検結果	29年度新規事業であり、実績を踏まえながら効率的かつ効果的な実施に努める。											
	改善の方向性	-											
外部有識者の所見													
点検対象外													
行政事業レビュー推進チームの所見													
	事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。												
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況													
備考													
関連する過去のレビューシートの事業番号													
平成22年度		平成23年度		平成24年度									
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度									

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
2,599百万円(見込み)

(65歳超雇用推進助成金)

【補助】

A. (独)高齢・障害・求職者雇用支援機構
2,599百万円(見込み)

(65歳超雇用推進助成金の支給)

B. 事業主
支給金額:未定

[定年引上げの実施等に充当]

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万
円)

支出先上位10者リスト

A.

支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百億円)	契 約 方 式	入 札 者 数 (応募者 数)	落 札 率	一 者 応 札・一 者 応 募 又 は 競 争 性 の な い 随 意 契 約 と な つた 理 由 及 び 改 善 策 (支 出 額 10 億 円 以 上)
1				-	-	-	-

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契 約 方 式	入 札 者 数 (応募者 数)	落 札 率	一 者 応 札・一 者 応 募 又 は 競 争 性 の な い 随 意 契 約 と な つた 理 由 及 び 改 善 策 (支 出 額 10 億 円 以 上)
1		-			-	-	--	
2		-			-	-	--	
3		-			-	-	--	
4		-			-	-	--	
5		-			-	-	--	
6		-			-	-	--	
7		-			-	-	--	
8		-			-	-	--	
9		-			-	-	--	
10		-			-	-	--	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト